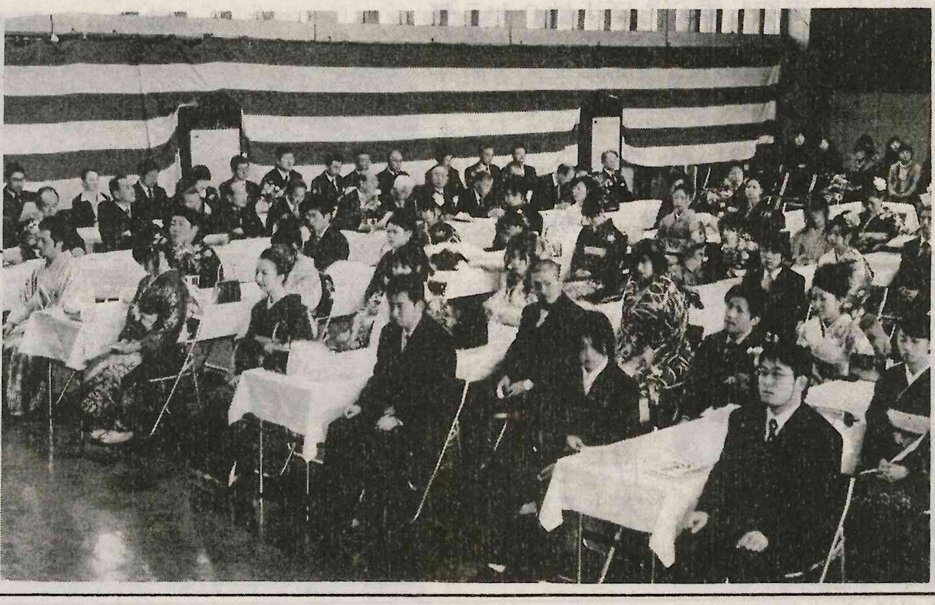
2008年（平成20年）　1月15日(火曜日)　先　勝(旧12月 8日)
(NO，9899)
夕刊 矢祭
東舘字桃木町42　夕刊矢祭新聞社　昭和57年12月6日第３種郵便物認可
発行人　菊池正典　☎46-3508　日刊（日曜、祭日、第二・四土曜休刊）　月額 1,000円

誓い新たに二十歳の門出

矢祭町成人式

七十六名の新成人者激励

大人としての責任や義務を自覚



平成二十年矢祭町成人式は、十三日午前十時から山村開発センターで挙行した。

町内在住及び出身の新成人該当者七十六名（男性二十八名・女性四十八名）のうち出席した六十八名を囲み、町及び教育委員会をはじめ議会議員、学校長ら各機関・団体の代表らが晴れの門出を祝福し洋々たる前途に激励の言葉を贈った。

新成人者はこの日のためにと晴着姿で臨み、例年のように会場は華やかな雰囲気につつまれた。

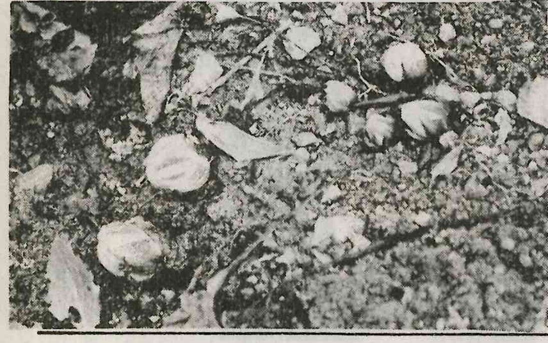
式は副実行委員長の田所淳司さん開式のことばで始まり国旗斉唱に次いで一人一人呼名を受けて起立した。古張町長が成人代表の豊田千絵さんに成人証書、鈴木惇也さんに記念品（写真立て）を授与し、「成人誠におめでとう、社会人として自分の行動や言動に責任を持つことを自覚し夢と希望を持って前向きに生きていって下さい」と式辞を述べた。片野宗和町教育委員長挨拶、片野隆議会議長祝辞のあと成人代表の鈴木一弘さんが町に記念樹（桜五本）を贈呈、実行委員長の菊池巧さんが「大人になったことを自覚し、自らの意思に基づいて生き抜いていくとともに、人と人とのつながりを大切にしながら輝かしい未来を切り開いていき、矢祭町に生まれ育ったことを誇りとし矢祭町発展に多少なりとも貢献できるよう鋭意努力を重ねてまいります」と誓いの言葉を述べた。

成人の主張は佐藤潤一さんと菊池有紀さんが「成人を迎えて」と題し感想や抱負を発表した。

副実行委員長の鈴木陽子さん閉式のことばで終了し、式後はステージをバックに古張町長、来賓らと記念写真撮影を行った。

また実行委員会主催による成人記念パーティーを午後三時からユーパル矢祭において中学校時代の恩師を招いて開いた。

ふきのとうが敷地内に発生



矢祭ニュータウンの小田川字中山二七ー二八〇、鈴木登司夫さん宅の敷地内に、ふきのとうが大量に芽を出している。鈴木さんは三年位前に近くの山からふきを採取し自宅の裏庭に移植し根付かせていた。今冬は十二月下旬ごろから芽が出て今では二十個位に増えている。

▼介護予防事業「栄養及び口腔ケア教室」は、あす十六日午前九時三十分から山村開発センターで開く。

▼東舘幼稚園交通教室は、あす午前十時から開く。

▼子ども教室は、あす午後一時四十分から石井小学校で開く。

▼二歳児歯科健診は、十七日午後一時から町山村開発センターで実施する。

▼東白川町村体育指導委員連絡協議会研修会は、十八日午後七時から矢祭町体育センターで開く。

▼町社会福祉協議会の心配ごと相談は、十八日午後一時三十分から町山村開発センターで開く。

御会葬御礼

亡妻　高澤絵理奈　儀

葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御神饌料を賜りご厚志の程誠に有難く厚く御礼申し上げます

早速拝趨のうえご挨拶申し上げるべき処略儀ながら紙上を以て御礼申し上げます

平成二十年一月十四日

矢祭町大字東舘字蔵屋敷六七番地

喪主　高澤勝弘

外　兄弟親戚一同

御会葬御礼

亡母　本田こう　儀

葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御神饌料を賜りご厚志の程誠に有難く厚く御礼申し上げます

早速拝趨のうえご挨拶申し上げるべき処略儀ながら紙上を以て御礼申し上げます

平成二十年一月十三日

矢祭町大字大垬　字町九番地

喪主　本田勝比古
秋庭　功（喜江子）
梶原　文男（芳子）
外　親戚一同

厄除け・開運　不動の春
節分会　豆まき式のすすめ

日時　平成２０年２月３日（日）
第１回目　午前１０時３０分
第２回目　午前１１時３０分
（午後１２時３０分参拝者へ福品付き豆まき）

祈祷料　10,000円（かみしも貸与、神酒・昼食ご接待）
7,000円（かみしも貸与）ご接待はありません

申込み　平成20年1月25日〈金〉締切り（予約をお願い致します）

奥州山本不動尊　節分奉修事務局
電話0247-33-2445　FAX0247-33-4156
ホームページ;http://www15.ocn.ne.jp./~y-fudou/

酉小屋、昔あそび、どんど焼きで交流

寒風の空に凧舞いあがる

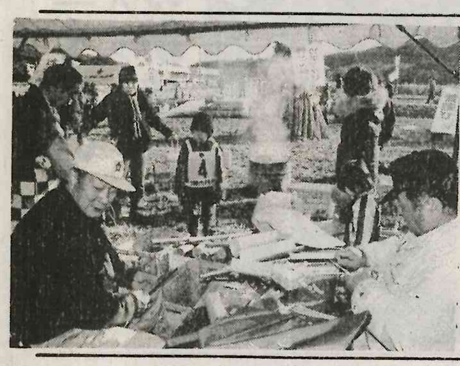
元気な子どもの声

賑やかに小正月を楽しむ

元気な子どもの声が聞こえる町づくりを担う「ヤー！ヤー！や祭2008・冬」のイベントは、十四日正午からユーパル矢祭南側の田んぼにおいて開き、子どもや保護者、一般町民ら約二百人が参加して賑やかに開いた。

厳しい寒さと強い北風が吹き荒れたが晴天に恵まれた中、凧あげ大会、酉小屋、昔あそび、どんど焼きが繰り広げられた。

開会セレモニーでは鈴木治実行委員長、古張町長が挨拶、常陸凧の会大子支部の栗田治夫さんが凧について説明し協力団体を紹介した。



金沢秀哲君（東舘小六年）が選手宣誓、鈴木委員長、古張町長、児童代表二人による鏡開き、中に入っていた菓子をまき、花火を打ち上げて凧あげ大会を開始した。

凧あげには小学生から大人まで約百人が挑戦し、自作凧参加者は審査し表彰、既製品や当日会場で作った人には参加賞を贈った。

昔あそびは関岡百寿会（本多常男会長）会員が竹とんぼ、竹ポックリなどを製作し親切な指導にあたった。

茅で組立てた酉小屋では田楽などで会食、どんど焼きには正月飾りや御札を持参する人が相次ぎ、神事のあと点火して今年の安全と無病息災を祈願して全日程を終了した。

◎凧あげ大会入賞者

《ちびっ子の部》

▼最優秀賞＝石井陽平（小学二年）

▼優秀賞＝金川颯希（小学二年）金川敦志（六才）佐藤芳紀（小学三年）佐藤亜衣（小学一年）青砥莉奈（五才）篠木涼太（小学二年）大森ななみ（幼稚園）永山佳奈（小学一年）白石紗也加（同）宗田悠之介（小学二年）

《少年の部》

▼最優秀賞＝金澤直輝（小学六年）

▼優秀賞＝大塚優也（小学五年）近藤春樹（小学六年）石井寿美（同）菊池美春（同）安住樺奈子（小学五年）菊池佳奈恵（同）菊池春那（小学四年）金沢秀哲（小学六年）金沢美佳（小学四年）永山玲花（同）

《青年の部》

▼最優秀賞＝橋本克也（四八）

要介護障害者控除など減税制度の周知を要望

東石民商が東白川石川両郡町村長に実情訴え

地域住民や中小業者らの経営支援、相談業務などを担って東白川石川両地区で活動している「東石民主商工会」（江田孝会長）は、管内町村に新しい減税制度周知徹底を求める

「要望書」を各税務担当課を通し町村長に要請している。要望書は最近の急激な原油高騰、長期不況、仕事の激減、単価切り下げなどにより地域の町村住民や中小業者が悲鳴をあげ、苦しんでいる実態を説明、定率減税の廃止、各種控除の変更廃止などにより増税に苦しんでいる実情を訴え、これらの状況打開と改善のためにも、「新しい減税制度」について地域住民らに周知徹底するよう求めている。

この要望活動として矢祭町には十一日午前十時、東石民主商工会江田会長ら役員三人が、坏豊明町議の案内で来庁、町長室で古張町長、永山自立総務課長、高信保健福祉課長と対談、江田会長が「要介護認定者は障がい者向上を受けられることや住宅借入金などの特別控除が住民税からも出来るようになったことを対象者に周知して下さい」との要望事項を町長に提出した。

次いで減税制度や現在の中小業者らの経営実態、支援など税制面での対応について意見を交し懇談。同商工会は要望事項の周知徹底を求めた。

一流品が安い店
タイヤハウス R.S.K.
定休（水） 02957 （2）5573

お客様感謝デー
（第三水曜日）
あす16日（水）です
感謝の気持ちでお待ちしております。
JA東西しらかわ
矢祭給油所
小田川字春田 ☎46－2014

心配ごと相談所

開設のお知らせ

今回の心配ごと相談を下記により開設いたしますので、ご利用下さいますようお知らせ致します。

記

日時 1月18日（金）午後1時30分～3時30分
場所 矢祭町山村開発センター
相談員 白河市郭内 宮本法律事務所
弁護士 宮本多可夫先生

※相談したい方は前もって町社会福祉協議会にご連絡下さい。
※予約制で先着10名までとなります。
身近な心配ごとご相談下さい。秘密は守り無料です。

矢祭町社会福祉協議会 ☎34-1050